

6

失敗の本質 (沖縄戦の場合)

2020.10.11

第二次世界大戦で日本が負けた原因は何であったのか。

「失敗の本質」(1984.5 ダイヤモンド社刊 野中郁次郎著)を読ませていただいているが、それは、負けた要因の理論化であり、過去の成功体験への根拠のない依存への反省であった。日本陸軍は、奇襲と白兵戦による銃剣第一主義(米軍は火力重視の合理的な戦い)。海軍は、戦艦大和に代表される大鑑巨砲主義(米軍は空母と航空機による機動戦)。米軍に対して精神主義で豊富な物量への挑戦であり、既存の知識と新しい考え方との対決であった。

この本の最終章である沖縄戦について自分で調べられるところをまとめたものである。

太平洋戦争(日本軍の惨憺たる失敗例) (1941.12.8～1945.8.15)

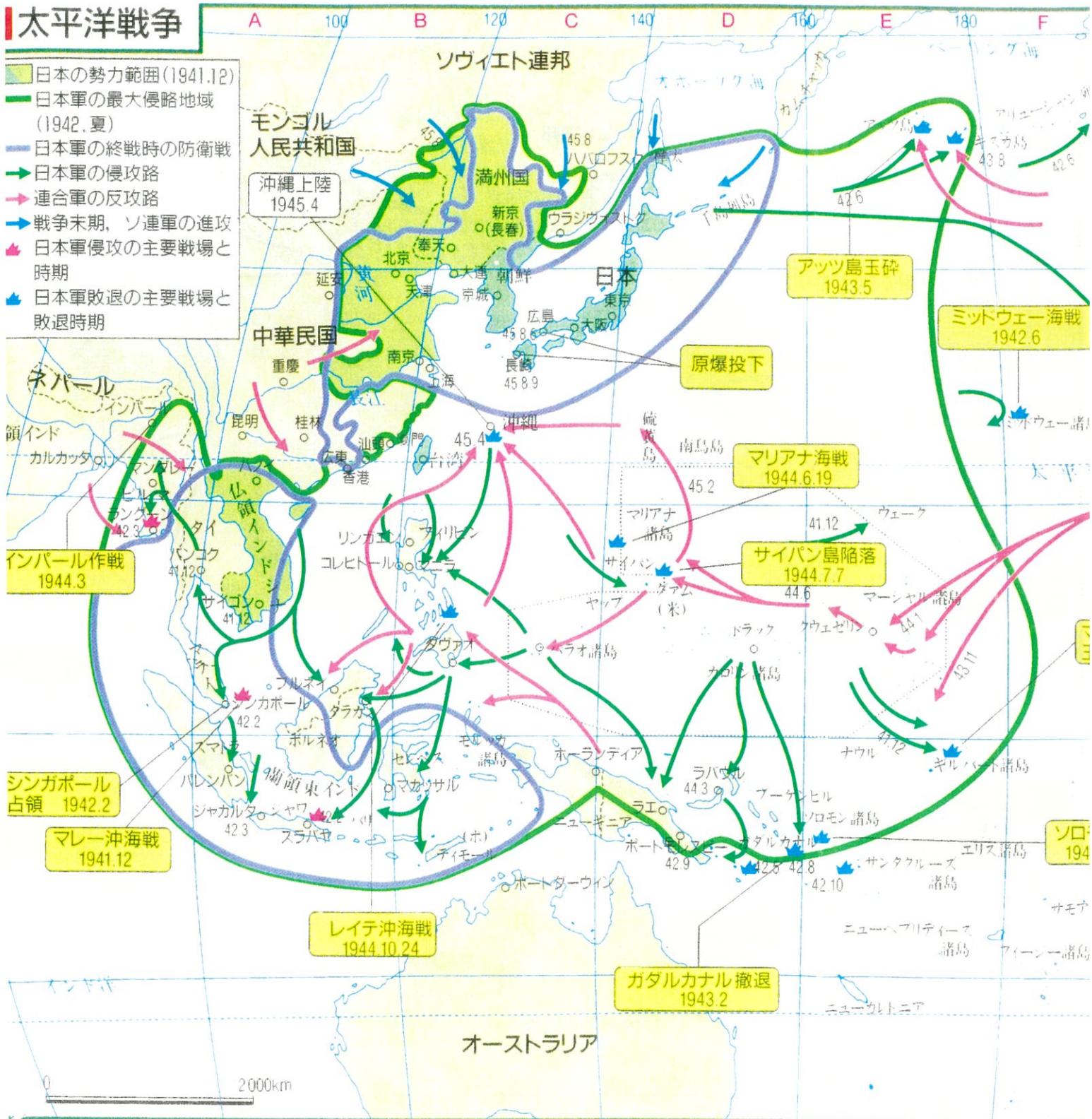
- | | |
|---|--|
| ① ノモンハン事件
(1939.7)
(日本軍戦死者1万8千人、
戦没、戦死1万8500人) | 重大な危機に際しての日本の組織一般の欠陥と問題点。
作戦の失敗例の予告。中央と現地とのコミュニケーションの不足、独善性と過度の精神主義。失敗の学習の不足。
やればなんとかなるという楽天主義の日本軍に対し、ソ連軍は合理主義と物量で圧倒した。
物量を誇る米英との太平洋戦争に対する量、主な教訓とすべきであった。 |
| ② 真珠湾攻撃
(1941.12) | 攻撃部隊は11.26エトロフを出発、攻撃は航空機と特殊な潜航艇で実施。12月7日出航中の航空母艦を除き、東太平洋艦隊を全滅。海上兵力に対する航空兵力の優位。日本の最後通牒は、攻撃後にアメリカ大使に手交。米国は12月8日対日宣戦布告。
(2000人以上の米将兵が戦死) |

- ③ ミッドウェー海戦
(1942.6)
- 海戦のターニングポイント。不測の事態に対する対応。
- ハワイ諸島西端の2小島。日本軍は防衛ラインの拡張と米機動部隊への決戦を目的として、連合艦隊の総力をあげて出撃。攻撃部隊の発進準備中に米急降下爆撃材の急襲を受け、四主力空母、主巡一隻が沈没、航空機300機と多数の熟練パイロットを失う。米軍の損害は空母一隻沈没、航空機150機喪失。この結果、諸戦における日本軍の優位は崩壊。
- ④ ガダルカナル撤退
(1943.2)
(日本軍派遣部隊の2/3、戦死者2万4千人)
- 撃戦のターニングポイント。情報の貧困や兵力の遂次投入。米軍の水撃両用作戦。水撃両用作戦の未開発。日本軍の作戦失敗。物資不足、マラリア感染、海戦敗北、航空隊の損耗大。連合軍は総反抗の転機。
- ⑤ インパール作戦
(1944.3)
(日本軍死傷者7万2千人)
(英印軍1万7千人)
- 雨期の到来と英印軍の反撃で作戦失敗。しなくてもよい作戦の敢行。
- この作戦は日本軍の作戦指導の硬直性を示し、ビルマ防衛計画は崩壊した。
- ⑥ レイテ沖海戦
(1944.10)
(日本軍死者1万人)
- 作戦失敗。作戦目的の曖昧さ、参加艦隊の任務把握の不充分、統一的指揮の不存在。作戦失敗。米軍の損害は小型空母3隻、その他3隻沈没。日本軍側は、武藏等戦艦3隻、空母4隻等が沈没。連合艦隊は事実上壊滅。
- ⑦ 沖縄戦
(1945.4)
- 作戦失敗。作戦目的の曖昧さ。大本営と現地軍の意思の不統一。日本の組織の全目的課題。
- 米軍は本土進攻をスムーズに運ぶために物量を投入、日本軍は本土進攻を1日でも長引かせるための出血作戦。

日本軍將兵6万5908人、
県出身軍人軍属2万8228人、
一般県民9万4000人死亡
(米軍將兵1万2281人死亡)

太平洋戦争

- 日本の勢力範囲(1941.12)
- 日本軍の最大侵略地域(1942.夏)
- 日本軍の終戦時の防衛戦
- 日本軍の侵攻路
- 連合軍の反攻路
- 戦争末期、ソ連軍の進攻
- 日本軍侵攻の主要戦場と時期
- 日本軍敗退の主要戦場と敗退時期



参考図書

1. 失敗の本質 野中郁次郎著 1984.5 ダイヤモンド社
2. 沖縄県の歴史 新里恵二著 S.47.5.15 出川出版社
3. 亡国の本質 赤城毅著 2020.10(株)PHP研究所
4. 沖縄県民と沖縄戦 山崎雅弘著 2005.4 学研パブリッシング
5. 次世代ガバナンス 若林恵編集 2019.2 経済新聞出版社

6. 沖縄を若狭の日本開拓 牧野輝昭著 2018.7.30 新潮社

7. 戦没からお伝言 沖縄戦デジタルアーカイブ  2015.7 沖縄タイムズ社

「經濟学者たちの日本開戦」

(秋丸機関「幻の報告書」の謎を解く)

牧野邦昭著 2018.7.30 新潮社

- 1、有沢広巳ら一流の経済学者を擁する陸軍の頭脳集団「秋丸機関」が、日本の経済抗戦力の巨大な格差を指摘する報告書を作成したからだ。
なぜ、此謀が対米開戦を防ぐ手助けになったか。
→
- 2、1941年、日本はなぜ「勝ち目がないアリカとの戦争を始めたのか？」
戦後の検討からすると、「対米開戦」は非合理的極致といえども、やむなし。
- 3、当時のエートウでは日本の指導者たち(特高官)が格別に「豊か」、「非合理的」であつたからである。
- 4、「非合理的」、「情報収集」、といった仪で1941年日本陸軍20万軍、美隊軍團開戦前に多くの経済学者を「秋丸機関」へ送り、日本、PHL、タイなど主要国の経済抗戦力の国査を行つた。

5. 報告書にて戦争の本質とその目的について、
報告書、正確な戦争の困難さを指摘している一方で、
全く別な形で解釈して「開戦」の判断を採り出している。
6. 何故、日本指導者たちは、正確な資料に対する漠然としたものか、
また、某と対等するべきを謳いつつあるのか、
7. 1939.7 東亜経済懇談会において 秋山次郎は
今後の戦争は、武力競争ではなく、経済的競争である
が重要である旨 話している
即ち、日本は製造基準と方々「經濟」で争うべきだ。
この程度で日本は自分自身の出来事から日本が製造基準と争うべきだ
8. 本、世界、
「技術」「人間」「資源」「政策」
これら4つの建設基準が東亜経済懇談会「東亜7原則」の5大柱となる
9. 現在、東亜経済の現状と問題点 (高木) 2020.3
(石油資源)

1939-1941

10 (1) V連合、直接に戦争に参加せし一言で、

「英米対独戦」長期化させた

(2) 薩摩石政を援助し、「日中戦」の長期化を図る

(3) 日中と日ソの強化を図る

11. 未だの依然敵対と今後海上主要工作

12. 東連合、英米依存の遠却なり

東亜共存圏の確立を図る。

13. 英ロの統治終了(占領地復元)

14. 日本に対する牽制(日本政府の報告)

.. (1) 日本経済の脆弱性

(2) 依然敵対での英米への経済的依存

(3) 高い貿易の对外依存度(特に米ソ)

諸支那、V20%以上

米ソ口 V 77% 強

(うち ⁸¹強の米ソ)

(英米ソ 70% 52% 43%)

(4) これにて經濟部門が叶へた。陸軍自身から
演説(長い長い長い演説)、陸軍では何度も
南洋を想定したシミュレーションを行つた。

1940

行方調査では、

↑
陸軍の依頼により、西原茂から

① 英米とソ連に宣戦布告し、

南洋を占領した場合の経済火力の推移等を算
定せよといふのである。その結果は、

- ・ 鋼材生産額は減少し、
- ・ 民需はほとんどの重要物資が5割以下にまで下落
というより悲惨なものである

15. 1941初め 九段の儀式における丸太横山の報告会

日本の國力は、日本戦争の倍の資源に耐え得ぬか

(1) 人口の問題 兵力を増やすには出生率 (有紀)

(2) 生産力の問題 (中山)

(3) 船と油の問題 資源の確保の問題 (武井)

結論は、倍の資源休むまい。

以上の結果で日本生産力は落ちる、生活力も落ちる

三、 一口の口防経済力の強弱は、 その他の経済力。

経済力とは、戦争FTR如何に曲線を遮るかFTR
左右どちら。

一口の経済力を強化するには、 最弱点を補強し、

多方面の準備計画を整え、 経済力の培养、育成、節約を
順序立て作下さい。

このように、口防経済は、戦争が始まると、今度は消耗品

である、即ち、战争経済になります。

このように、經濟と战争との緊密化がなれ上、

他の戦争経済を崩壊させさせないで、敵・(抵抗)を
壊滅させさせ下さい。

⑥ 秋丸機関の中向報告

国防経済力は、一日の潜在的戦争力である。

中向 経済力の最も重要な

(第一次大戦の分析によリナスにおいて、戦争の勝利)
この新規概念で研究、とりまとめ

戦争を支える支撑力

戦争を支える支撑力

国民生活の基盤による後方活動



戦争と經濟力の抗争 (国民総力戦)

国民

一口の国民経済は、既に年時に於て 国防力として
培養され、国防力との条件を備え、国防力との訓練を
施さねばならぬ。

第一、一口の国防経済力の強さは、主に構成する諸力の
最弱点に依る。

第二、一口の国防経済力は、戦争勃発に際し即時対応し得る
経済力であり、必ずしも、以往の主要経済力が一部是正され
未だの期初の経済力と大いに

⑥ GAFAの决策書

2020.6 藤澤史基著
かんき出版
2020.10.12

1. 1990年初

PCリカの GDP 2016

2020年

11 30万

2010年

中口1=1万 0.1%

2. BIG5

GAFA + マイクロソフト

2018年 BIG5の GDP 約 41兆ドル (410兆円)

L-1の GDP を超え

更に Alibaba, Tencent, 百度, Huawei が

3. アズマク

ギガ江南を最重視

成熟企業

利益の半分

AVN.4X-企業

新規F4も売上の GDP =

4. 決策書を読む 制定を複数持つ

多くの情報を持った

人材育成と技術革新を同時に進める

平成元年と令和元年の世界時価総額ランキングの比較

平成元年 1989 世界時価総額ランキング				令和元年 2019 世界時価総額ランキング			
順位	企業名	時価総額 (億ドル)	国名	順位	企業名	時価総額 (億ドル)	国名
1	NTT	1,638.6	日本	1	アップル	13,047.6	米国
2	日本興業銀行	715.9	日本	2	マイクロソフト	12,030.6	米国
3	住友銀行	695.9	日本	3	アルファベット	9,228.9	米国
4	富士銀行	670.8	日本	4	アマゾン・ドットコム	9,161.5	米国
5	第一勵業銀行	660.9	日本	5	フェイスブック	5,853.2	米国
6	IBM	646.5	米国	6	アリババ・グループ ホールディングス	5,690.1	中国
7	三菱銀行	592.7	日本	7	パークシャー・ハサウェイ	5,536.9	米国
8	エクソン	549.2	米国	8	テンセント・ホールディングス	4,606.2	中国
9	東京電力	544.6	日本	9	JPモルガン・チェース	4,372.3	米国
10	ロイヤル・ダッチ・シェル	543.6	オランダ	10	ジョンソン・エンド・ジョンソン	3,839.1	米国

参考:「平成元年」は米ビジネスウィーク誌(1989年7月17号)「THE BUSINESS WEEK GLOBAL1000」。
令和元年は筆者調べ

のトップランクの大学生が、就職先としてGAFAを志望するようになりました。学生は企業の業績に敏感です。そのため競争力がある企業に集まっていくのです。約20年前では、外資系金融かコンサルティング会社に就職先を決める人も多かったのですが、ここ十数年で就職事情も様変わりしたようです。

さて、平成という30年間で世界経済に何が起こったのでしょうか？

そしてGAFAはどうしてここまで強くなったのでしょうか？

本書では、GAFAのほかマイクロソフト、Netflixなどの「決算書」を分析し、複数の側面からその強さについて分析していきます。

5. 時代の変化

Face Book

実店舗 → E C

実店舗を持たないビジネスモデル

ドットコム 画面を頻繁に更新

6. 直営型とマーケットプレイス型

Amazon

E C 市場

物を個人買ひ代り →

1年後 NASDAQ 上場

カニハリ・ゼーリング

カニハリ・ゼーリング Cannibalization 同じ会社

君の代代け、いまだにしきむ集会をひきのめ

ことだ。物理的な本を売人間会員から

脳を奪うつもりで取組みやすい

自社の商品を譲してもかまわぬ

7. R & D の世界 -

アマゾンの薄利、回先の利益よりも長期的視点
毎年の巨額

AI.

视觉情报处理

8. 高い資金効率

Cash Conversion Cycle

$$\text{Days Inventory Outstanding} + \text{Days Sales Outstanding} - \text{Days Payable Outstanding}$$

在庫回転日数
売掛債権回転日数
仕入債務回転日数

① 在庫の貯蔵期間で売掛債権

② 完成工件、貯蔵期間で現金化される

③ 仕入債務を支払うまでの期間は無視する

① + ② - ③ = 潜在期間 CCC

Cash Conversion Cycle

AmazonのCCCの推移



これに関連する仮説として、以下についても検証しましょう。

- 在庫の負担は結構ありそう

下の表内の在庫回転日数を見て確認してみましょう。

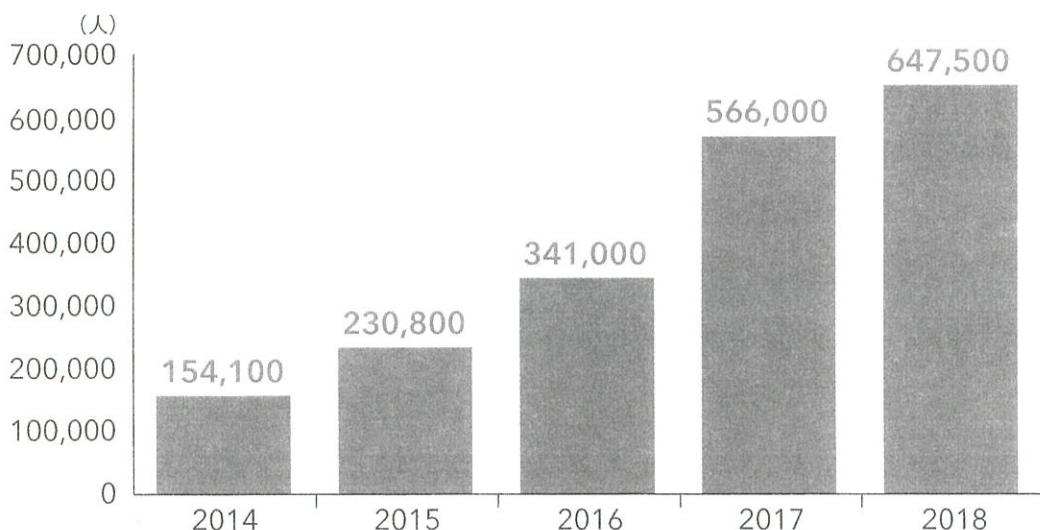
AmazonのCCCの要素

	2016	2017	2018
CCC	-21.56	-21.07	-18.33
DIO(在庫回転日数)	37.41	36.59	35.01
DSO(売掛債権回転日数)	19.81	22.06	23.38
DPO(仕入債務回転日数)	78.78	79.72	76.72

参照: アマゾンの決算資料(10K)より筆者作成

Amazonは大型物流倉庫を各地に保有していますが、その中に大量の在庫があったとしても、それらは35日程度でなくなってしまうのです。大量の商品を仕入れても在庫負担がない。これがAmazonの強みなのです。

Amazonの従業員数



参照: アマゾンの決算資料(10K)より筆者作成

2017、ホールスタッフを含む 95人

一つの仮説としては、物流倉庫が全世界で増え続けており、そこから雇用が生み出されていると考えられるからです。

また、これは私見なのですが、アマゾンはオンライン(WEB)とオフライン(実店舗)を融合させるために、雇用を減らさないのではないかと考えています。

マーケティングの大家であるコトラーは、自身の著書『コトラーのマーケティング4.0』において「新しいタイプの顧客の特性は、マーケティングの未来がカスタマー・ジャーニー全体にわたって、オンライン経験とオフライン経験のシームレスな融合になることを、はっきり示している」と話しています。すなわちオンラインでは技術任せ、オフラインでは人を介したサービスを提供する。だから、人を必要とするのです。

こういったオンラインとオフラインのシームレス(切れ目がない)な流通のことをオムニチャネル(Omni-Channel)と呼びます。詳しい定義については他書に任せますが、簡単に言うと顧客の「検索・検討」

9. オムニチャネル Omni-Channel

オンラインとオフラインのシームレスな流通

—アマゾン+、オンラインとオフラインを融合させた
ために、店舗を減らさないのに叶わないと
おもなう

コトニー——新しいタイプの顧客特性は、
マーケティングの未来が、アスター時代——全体に渡る
オンライン経験とオフライン経験の
シームレスな統合が求められ、ぱっと切り替わる
すれちがい。オンラインでは技術を中心と
オフラインでは人を中心としサービスを提供

10 オムニバスループ一本化 (品端)

IPループ網の物理的割り当て

集約化による品質の豊富さを外部へ表現する

鈴木会長

オムニバスループにおいても、決まり手とは違う

「商品開発力」である

リアルで売れるものをネットで販売する 意識がアツ

デジタルシフト時代 活性、成功の オムニチャネルの可能性

アズマ・

セブン

アズマ・セブン・オンライン・完結サード

集約 西友

⑥

近似

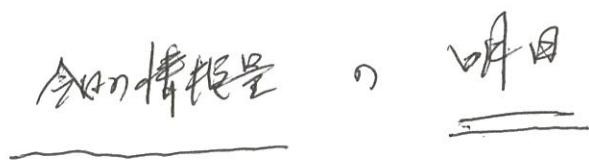
今後の連続化の問題を考究する

2020.01.23

2020.10.11

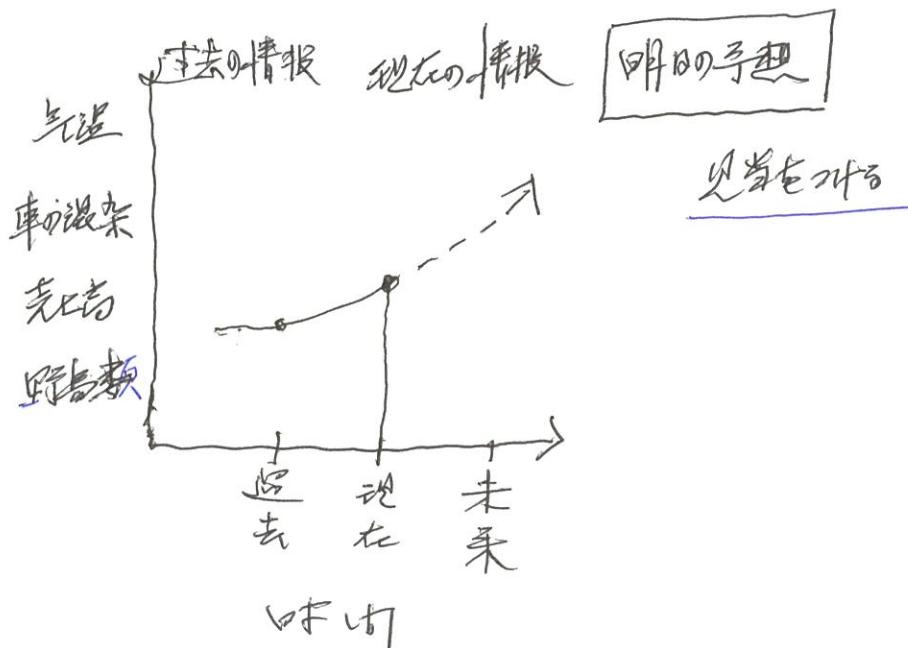
1. 連続化の問題

2020.12.9 昨日



2. 実際の現象を予測するには、

既往、現在の連続化の問題がある。



3. 0次近似 ①

Let us eat and drink, for tomorrow we die

$f(x)$ 曲線 on $a \rightarrow b$

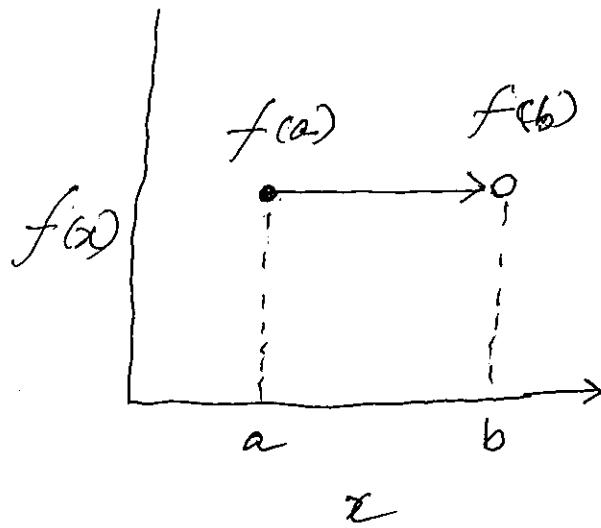
函数 $f(x)$ が a と b の間で

連続である →

したがって, $f(b) \in$ 予測

ただし, x が a と b

$f(x)$ が 連続である \rightarrow 0次近似 (0次近似) → 予測



4. 1次近似 ②

$x = a + t$ とす

$f(x)$ の近似 \rightarrow つまり $f(a)$ の

1次近似, その位置を近似

$f(x)$ の曲線の傾き $f'(a)$ が

つかな子供。

$f'(a)$ の近似式 \rightarrow おまけ

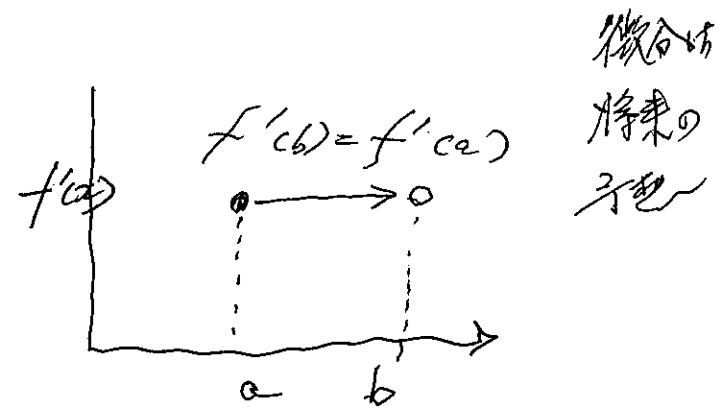
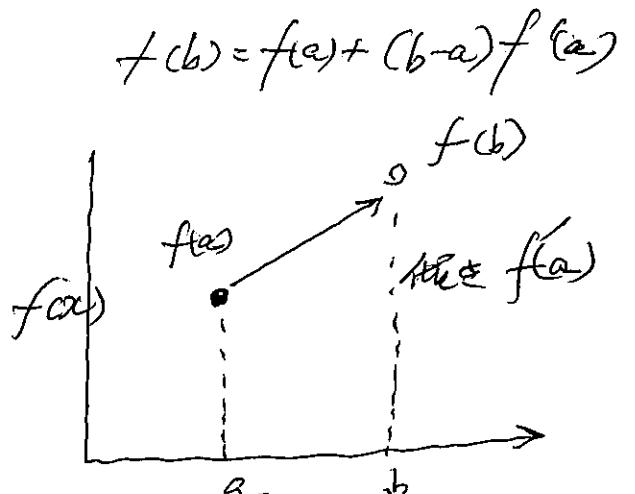
$f'(a)$ の値を求める方法 \rightarrow $t = 0$ と

して $f(b)$ の値を知る方法 \rightarrow $t = 1$

ただし

$f(b) = f(a) + (b-a)f'(a)$ と

予測 $f(b)$ の値を



5. 2次近似 ③

2次近似より、直線式より
より一階式よりは正確

2次近似の導地

曲線の傾きは $f'(x)$

切線における曲線の

傾きの変化率、

いわゆる曲率

曲線の弯曲の強さ

$f''(a)$ を導入し

$f(b)$ の予測の

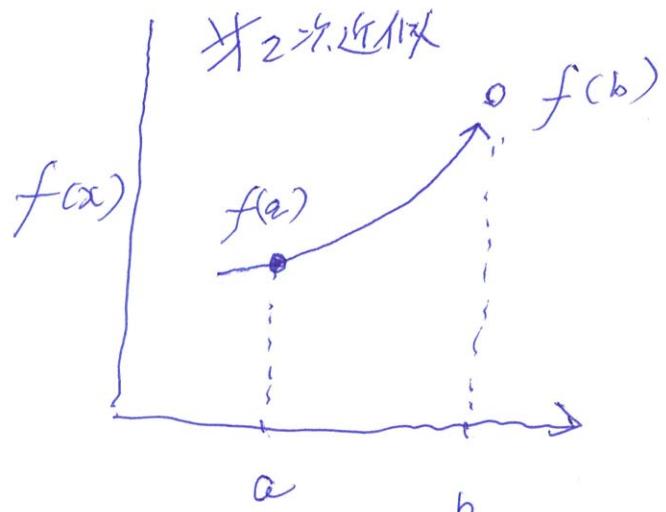
精度をあげる

それは、 $f'(x)$ は

一定の傾きで拡大する

では a と b の間の

x の位置には、



$$f'(x) = f'(a) + (x-a)f''(a)$$

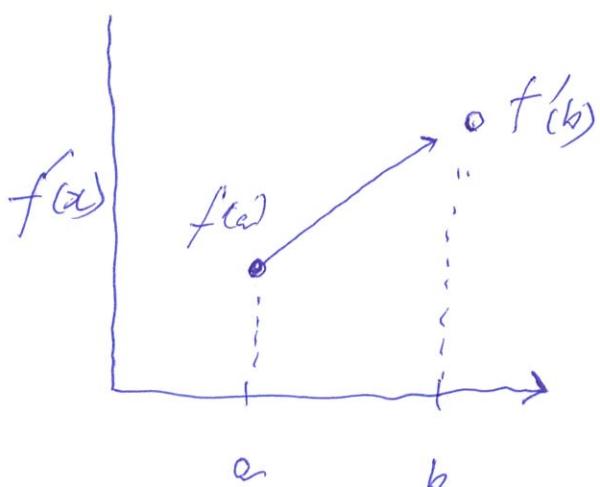
が成立する

ならば $f(x)$ の曲率は、

2次曲線を描く $\approx k/2 + x^2$

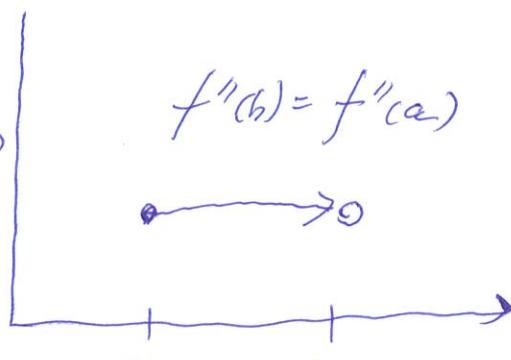
微分と積分の関係

$$f(b) = f(a) + \int_a^b f'(x) dx = f(a) + \int_a^b [f'(a) + (x-a)f''(a)] dx \approx kx^2$$



$$f''(b) = f''(a)$$

$\rightarrow 0$



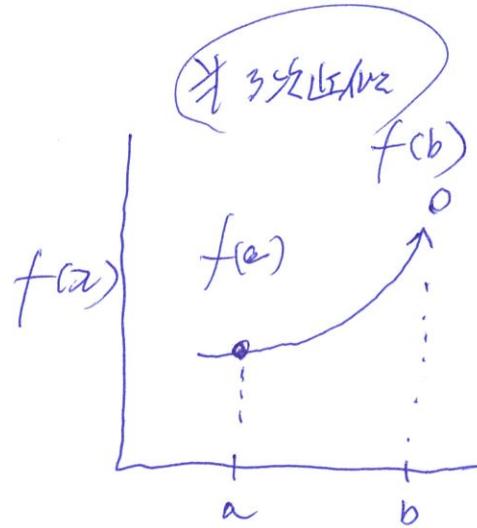
$a \quad b$

6. 3次近似(4)

$f''(x)$ の弯曲の強さの

變化率 $f'''(x)$ を一意とす。

三次元上、弦を接する曲面

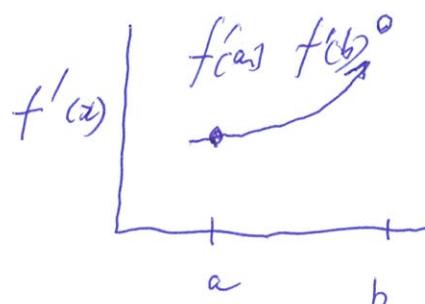


満足度 $f''(x)$ は

$$f''(x) = f''(a) + (x-a)f'''(a)$$

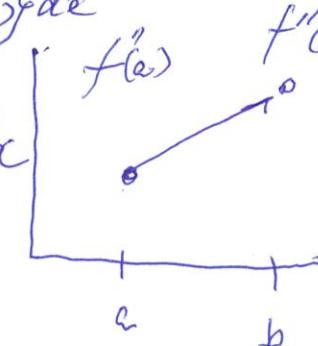
とき $f'(x)$ は

$$f'(x) = f'(a) + \int_a^x f''(x) dx$$



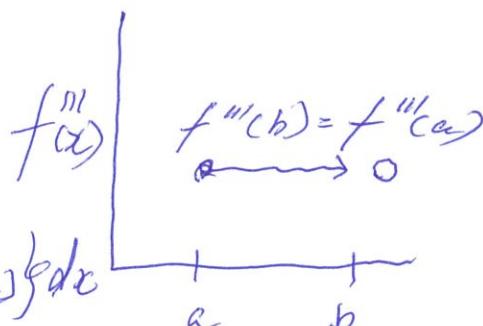
$$= f'(a) + \int_a^x \{ f'(a) + (x-a)f''(a) \} dx$$

$$= f(a) + (x-a) f'(a) + \frac{(x-a)^2}{2} f''(a)$$



3次近似 $f(b)$ は

$$f(b) = f(a) + \int_a^b f'(x) dx$$



$$= f(a) + \int_a^b \{ f'(a) + (x-a)f''(a) + \frac{(x-a)^2}{2} f'''(a) \} dx$$

$$= f(a) + \left[x f'(a) + \left(\frac{1}{2} x^2 - ax \right) f''(a) + \frac{1}{2} \left(\frac{1}{3} x^3 - ax^2 + ax^2 x \right) f'''(a) \right]_a^b$$

$$= f(a) + (b-a) f'(a) + \frac{(b-a)^2}{2} f''(a) + \frac{(b-a)^3}{3!} f'''(a)$$

7. 積分近似法, 第3次近似

$$f(b) = f(a)$$

$$f(b) = f(a) + \frac{(b-a)}{1} f'(a)$$

$$f(b) = f(a) + \frac{(b-a)}{1} f'(a) + \frac{(b-a)^2}{2 \cdot 1} f''(a)$$

$$f(b) = f(a) + \frac{(b-a)}{1} f'(a) + \frac{(b-a)^2}{2 \cdot 1} f''(a) + \frac{(b-a)^3}{3 \cdot 2 \cdot 1} f'''(a)$$

第n次近似式

$$f(b) = f(a) + \frac{(b-a)f'(a)}{1} + \frac{(b-a)^2}{2 \cdot 1} f''(a)$$

$$+ \dots + \frac{(b-a)^n}{n!} f^{(n)}(a)$$

n回微分可能な関数

この式で計算された $f(x)$ は、

直線の近似式である

近似式 (本田先生)

$$\sin 31^\circ = \sin \underline{(30^\circ + 1^\circ)} = \sin\left(\frac{\pi}{6} + \frac{\pi}{180}\right)$$

$\frac{30}{180} \downarrow = \frac{\pi}{6}$

$$f(x) \sin x \rightarrow f'(x) = \cos x$$

$$\sin\left(\frac{\pi}{6} + \frac{\pi}{180}\right) \doteq \sin \frac{\pi}{6} + \frac{\pi}{180} \cos \frac{\pi}{6}$$

$f(a) + hf'(a)$

$$= \frac{1}{2} + \frac{\pi}{180} \times \frac{\sqrt{3}}{2} = 0.515$$

$$h \doteq 0 のとき \quad f(a+h) \doteq f(a) + hf'(a)$$

$$x \doteq 0 のとき \quad f(ax) \doteq f(0) + xf'(0)$$

$$\boxed{h \rightarrow x} \quad \boxed{a \rightarrow 0}$$

$$x \doteq 0 のとき \quad f(x) = \log(1+x) の 1 次式を取る$$

$$f'(x) = \frac{1}{1+x}$$

$$\log(1+x) \doteq \log(1+0) + x \cdot \frac{1}{1+0}$$

$$x \doteq 0 のとき \quad f(x) \doteq f(0) + xf'(0)$$

近似式

本田先生
トライ

$$\lim_{h \rightarrow 0} \frac{f(a+h) - f(a)}{h} = f'(a)$$

h=0のとき

$$f(a+h) \doteq f(a) + h f'(a)$$

h=0のとき

$$\sin 31^\circ = \sin(30^\circ + 1^\circ) = \sin\left(\frac{\pi}{6} + \frac{\pi}{180}\right)$$

$$f(x) = \sin x \rightarrow$$

$$f(x) = \sin x \rightarrow f'(x) = \cos x$$

$$\sin\left(\frac{\pi}{6} + \frac{\pi}{180}\right) = \sin\frac{\pi}{6} + \frac{\pi}{180} \cdot \cos\frac{\pi}{6}$$

$$= \frac{1}{2} + \frac{\pi}{180} \cdot \frac{\sqrt{3}}{2} \doteq 0.515$$

テイラー近似

$$\begin{aligned}
 f(x) &= f(a) + \frac{(x-a)^1}{1!} f'(a) + \frac{(x-a)^2}{2!} f''(a) \\
 &\quad + \frac{(x-a)^3}{3!} f'''(a) + \dots + \frac{(x-a)^n}{n!} f^{(n)}(a) \quad \text{---①}
 \end{aligned}$$

①を下記の経由で式化

a を中心とする $f(x)$ の テイラー (Taylor) 級数

$$f(x) = \sum_{n=0}^{\infty} \frac{(x-a)^n}{n!} f^{(n)}(a) \quad \text{---②}$$

a の位置での情報だけ、他の位置を追加していくと
正確度が増える。例証: インテグリティの問題
以下の正確度規算に対する方法の構成

→ 7/2-01 ニ級数

a の 位 置 に 本 て す ま え ら ば $f(a)$, $f'(a)$, $f''(a)$...
を 利 用 以 て、 位 置 の $f(x)$ の 位 置 い ふ り が 正 確
計 算 す る ん な 魔 術 — ニ 行 - 級 数

ニ 行 - 級 数 は $\sin \frac{\pi}{x}$ を こ そ て a に 送 て

三 角 演 算 の 計 算 を 行 な け る。

→ 7/2-1) ✓ (Maclaurin) 級 数 は a の と こ を $x=0$
通 じ 方 法 で あ る。

$$f(x) = f(0) + x f'(0) + \frac{x^2}{2!} f''(0) + \cdots + \frac{x^n}{n!} f^{(n)}(0) + \cdots$$

$$f(x) = \sum_{r=0}^{\infty} \frac{x^r}{r!} f^{(r)}(0) \quad \text{--- (1)}$$

--- (2)

$$\text{① 式 } / x > 2 \quad L = 1 + x + \frac{x^2}{2!} + \frac{x^3}{3!} + \cdots + \frac{x^n}{n!} + \cdots$$

かく 得 じ る

$$L = 1 + 1 + \frac{1}{2!} + \frac{1}{3!} + \frac{1}{4!} + \frac{1}{5!} + \frac{1}{6!} + \cdots$$

$\therefore 2.71828$

24

$\sin \frac{\pi}{5}$ の テイラー展開

$$\sin \frac{\pi}{5} = \frac{1}{\sqrt{2}} \left\{ 1 + \left(\frac{\pi}{5} - \frac{\pi}{4} \right) - \frac{1}{2} \left(\frac{\pi}{5} - \frac{\pi}{4} \right)^2 - \frac{1}{6} \left(\frac{\pi}{5} - \frac{\pi}{4} \right)^3 + \dots \right.$$

π ≈ 3.141592653589793

$$\sin \frac{\pi}{5} = \frac{1}{\sqrt{2}} (1 - 0.015708 - 0.01234 + 0.00658\dots) = \frac{1}{\sqrt{2}} \times 0.83126 = 0.58779 = 3$$

$\sin \frac{\pi}{5}$ の 270-4 級 展開

$$\sin \frac{\pi}{5} = 0 + \frac{\pi}{5} - \frac{\left(\frac{\pi}{5}\right)^2}{2!} \cdot 0 - \frac{\left(\frac{\pi}{5}\right)^4}{4!} + \dots$$

$$= 0 + 0.6283 \cdots - 0 - 0.04134 +$$

$$= 0.587 \cdots \approx 36^\circ$$

左記で $(1+0.075)^{10}$ を用いて計算

270-4 級 展開

$$(1+0.075)^{10} = \frac{(1+x)^n}{1+10 \times 0.075 + \frac{10 \times 9}{2} (0.075)^2 +}$$

$$= 1 + 0.75 + \frac{0.25}{1} + \frac{0.05}{2} + \dots$$

$$\approx 2.05$$

$$(1+0.075)^{10} \approx 2.06$$

⑥

三国志の曹操

No. 2018.08.06
2018.06.04
Date 2018.04.08
2020.10.05

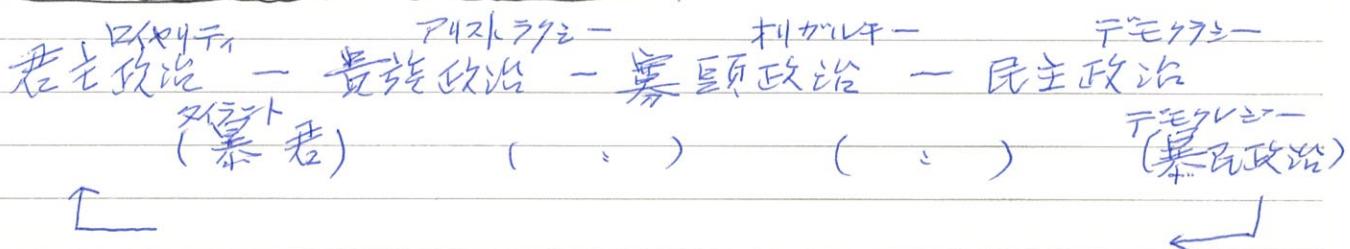
年代を七付す若は年代七り

会議を七付す若は(議會)

—徳川家康

(体制の内部崩壊)

体制の内部崩壊が新体制を呼ぶ



22歳で海軍大尉に就任すと一軍、不正を許され

守護の代母として年判官に任命され、江戸に赴く。

若中の如きの如きと驍勇屈せぬ才氣に向かひ功を立てる。

一時後進生徒を教へた後、23歳で西郷八校園に復帰。

翌年の衆政に併び、徳宗に着兵。

後回刊(民進)がこの私世に即ち政策を打ち出し、幕府擴張の本拠地に關都。

將軍兼宰相の北風丸、中华の統一を矢張る。

燎原の大

No.

K

Date

黄巾軍蜂起

「社」 土地神

「廟」 祖靈を祭る

〉農村共同体

「流民」 --- 豪族の土地兼併が主

飢餓、疫病、官吏の搾取



流民化

「太平道」 --- 新興宗教

呪術師 道魔郡の「張角」 大魔術師ヒカル
“善の道”

(1) 珍しい葬式

(2) 自分が犯した罪の告白 --- 地獄を経て人間として生む

(3) 死んでいく人の魂の救済 --- 人と人とのつなぐ

数十万の信者

蒼天の命運は尽き、黃天の財ばか手る、三の天下は甲子年 天下太平

と云

永初二年 (185) 〇 萧何生卒年。

光和七年 (184) 29 黄巾の乱 起

中平六年 (189) 34 袁绍、袁術、宦官2000余人を説教
董卓、洛陽に入城し朝政を奪い取る
袁绍、袁術、曹操、洛阳入り関東に脱出

初平元年 (190) 35 袁绍が董卓討伐の軍を率ぐる
董卓、長安を都と定め、洛阳を燒き放つ

“二年 (191) 36 袁绍、冀州牧の地位を奪う
曹操、黒山軍を破る

“三年 (192) 37 袁绍、公孫瓚を譽れて攻撃
呂布、王允(じゆう)、董卓を殺す
曹操、冀州牧を迎え込み、青州の黄巾三十万人を降し、青州兵を

“四年元年 (194) 39 曹操、呂布が冀州を奪む
陶謙、病死し、銅雀、徐州の半分に

“二年 (195) 40 曹操、呂布を定陶に破り、冀州を奪回する。
呂布、銅雀の毛(け)に走る。

建安元年 (196) 41 銅雀、呂布が徐州を奪む
曹操、南下淮河許へ進む。
“、屯田を兴す

“二年 (197) 42 袁術、寿春(九江)で帝号を僭称する

“三年 (198) 43 曹操、徐州を攻略
呂布、陳宮を殺す

“四年 (199) 44 袁绍、公孫瓚を易京(乙未)、河北を制圧

“五年 (200) 45 曹操、銅雀を除州に破り、街河を捕らす
曹操、袁绍軍十万を官渡に破り、华北統一の展望を開く

“七年 (202) 47 袁绍、病死を免れ、失意の35歳を度す。

NO. 2017.10.04/1
DATE 2017.07.14
2017.07.10
2017.08.20

武帝纪、太祖武皇帝、沛国谯县人，姓曹名操、
字孟德，西汉相国曹参的后代。

汉灵帝光和末年（183），发生黄巾军起义。

汉灵帝中平六年（189），董卓此时已除掉太后和弘农王。

太祖到了陈留集，变卖家产，募集义军，准备征讨董卓。

十二月，大司农县树旗起兵。

汉献帝初平元年（190）正月，后将军袁术，冀州牧
韩馥、豫州刺史孔伷，一起出征讨董卓，他们都用兵数万，
共推袁绍为盟主，太祖代理任偏将军。这年二月，董卓得知
各地兴兵征讨自己的消息，胁迫献帝迁都长安。董卓仍
烧杀洛阳、纵火烧毁了皇宫。

太祖说：“我们义军是讨伐乱世，现在各路军兵都已会合，
谁还还有什么疑虑？——天下惊恐，百姓不知该如何行人
这正是天意要使他灭亡的契机，一战就能席卷天下，功不可失。”

鉅鹿「張角」

初、鉅鹿張角自称大賢良師、奉事黃老道、畜養弟子。

跣足首過、符水呪說以療病。病者頗愈、百姓信向之。

十年余年間、衆徒數十萬、連結郡國。八州之人、莫不畢应。

蓋是三十六方。方猶將軍號也。大方万余人、小方六七千、

各立渠師。

訛言蒼天已死、黃天當立。

歲在甲子、天下大吉。

以自土壤京城寺廟及州郡官府、皆作甲子字。

黄巾の乱は、中國农民反乱史上はじめて、はつきり到王耕

体制打倒のストーリーをかみ、堅密な組織活動を以て勝利した。

鄭小年的統治技術

鄭小年は、先鋒軍の好みに因る様、揮帥が慢からずといふ。

(1) 權威をもって統し、行動せよ

(2) 統一的指揮命令系統を維持せよ

(3) 軍令印を以て掌握せよ

(4) 新兵の選抜と訓練、老兵の指揮を得たうえで推进せよ

(5) 非難を回避せよ

太祖武皇帝，沛國譙人也。姓曹、諱操、字孟德、漢相國參之後。桓帝世、曹騰為中常侍、大長秋、封費亭侯。養子嵩嗣、官至太尉、莫能著其生平本末。嵩生太祖。

魏武將見匈奴使、自以形陋、不足以雄遠口。俠崔季珪曰、
嵩自提刀立牀頭。既畢、令聞諜問曰、魏王何如。匈奴使答曰、
魏王雅望非常。起牀头握刀人、此乃英雄也。魏武聞之、追殺此
使。武王姿貌短小、而神明英發。

太祖少機警、有才數、而任俠放蕩、不治行業。故世人未元
奇也。太祖少好飛鷹、走狗、遊蕩無度。其叔父教言之於嵩。
太祖患之、後逢叔父於路、乃隕敗面喝口。叔父快而問其故。
太祖曰、卒中惡風。叔父以告嵩。嵩驚愕呼太祖、太祖口貌如故。
嵩問曰、叔父言汝中風。已差乎。太祖曰、初不中風。但失髮於
叔父、故見囬耳。嵩乃疑焉。自后、叔父有告、嵩終不復信。太
祖於是益得肆意矣。

(6) 長期目標を踏まえ、短期政策を沿延せよ

(7) 長期目標に従む、政策を追跡せよ

(8) 不都合な真実を暴け

(9) 大胆で明るく

(10) 圧力と加え、收束の運営方、自己在りを加えよ

(11) 固縛を強化し、内張を最小限に抑える

荀彧見、

曹操微時、而異焉、謂曰、今天下將亂。安生民者其在君乎。
非命世尤才不能濟也。能安之者、其在君乎。

太祖荀彧世名知人。觀太祖而異之曰、吾見天下名士多矣。
未有若君者也。君善自持。君若失。願以妻子為託。由是聲名益
重。

嘗問許子將、我何如人。子將不答。因問之。子將曰、子治
世之能臣、亂世之能亂。太祖大笑。

曹公少時見荀彧。謂曰、天下無群雄虎爭。撥而擅之非君
爭。然君果是亂世之英雄、治世之豪傑。恨君先死。不見君富貴
當以子孫相累。

博覽群書、特好兵法、搜集諸家兵法、又曰接要。

又注孫武十三篇、皆傳於世。

(1) 過去の不滿を晴らすの仕掛け

(2) 実験により保守派の抵抗を弱めさせ

(3) 複数で意見の分かれ子の問題を説明する際は、わかりやすい言い回しを使

(4) 根本原則のゆがまず、偏りのない説明を作

(5) 従例主義を排し、有能な干部を選入

(6) “審議会”を活用し、集結化させ

荀子年 8月 17. 2023 ✓

PROGRAM MANUAL

PROGRAM NAME

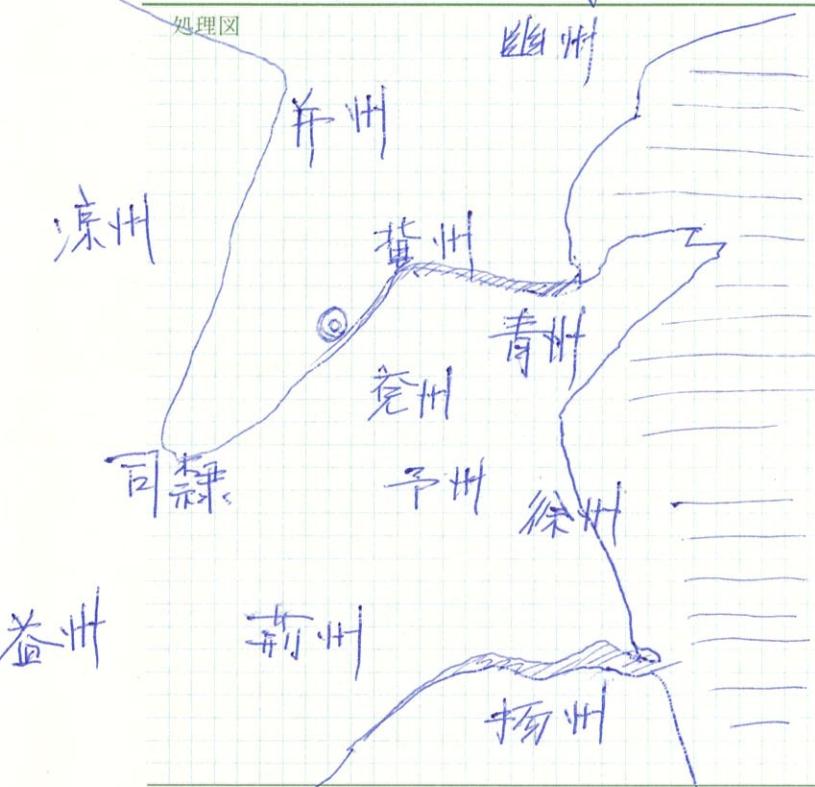
官渡の決戦

PROGRAM NO.

AD. 200年 曹操 45才

PROGRAMMER

処理図



処理手順

袁绍

冀、幽、并、青

烏丸、逢云、田豐、荀彧、許攸
陳宮、文瓈、沮授、郭圖

曹操

亮、辛、

元子を猪突もつて諸侯に勝利

処理条件

不
謀將以爲可敵。公曰、吾能知之為人。

志大而智小、色厲而胆薄、无克而少威。

兵多而分画不詳、將帥而政令不一。

土地虽广、財貨虽豐、道足以为吾奉也。

秋八月、公进军黎阳、使臧霸等入青州破齊。

北海、東安、徒于棗屯河上。九月、公还許。

分兵守官渡。冬十一月、張繡率衆降、封列侯。

十二月、公畢官渡。

> 田豐云、公蓋太祖後、紹辟江子疾、不許。

豐舉杖击地曰、夫遭難遇危機、可以與兒之淚
失君臣、惜哉。

DATE

PROGRAM MANUAL

7/12

PROGRAM NAME	PROGRAM NO.	PROGRAMMER
龜難寿		曹操
处理图	处理手順	
烈士暮年 忡心不已 神龟虽寿 犹有竟时 腾蛇乘雾 终为土灰 老骥伏枥 志在千里 烈士暮年 忡心不已 熟读之期 犹在天 善始之福 以年为永 幸甚至哉 歌以咏志		
曹操生志老矣未已 人长生久亦可乎。猶生而 最後無行の漢の人物の如き 后死之志		盈余
		暮年 晚年
		盈余

处理条件	
神龟虽寿 犹有竟时	
腾蛇乘雾 终为土灰	成霧 雾山乘云 雾上行
老骥伏枥 志在千里	
烈士暮年 忱心不已	
熟读之期 犹在天	
善始之福 以年为永	
幸甚至哉 歌以咏志	

DATE					
コクヨ EX-9					

PROGRAM MANUAL

5 月

PROGRAM NAME	PROGRAM NO.	PROGRAMMER
苦寒行		
处理図	處理手順	
<p>建安11年（206年） 冀州に高幹を攻める 嚴寒の冬から太行山脈を越え 辛苦の行程がつづかれている。</p>		
处理条件	<p>北上太行山 難哉何巍巍 羊腸坂逶迤 車輪为冰摧 樹木何蕭瑟 北风聲正悲 熊羆对伐躊 虎豹夾路嘶 寥寂少人民 雪落何霏霏 薤露長歎息 远行多所懷</p> <p>我心何怫鬱 思欲一东歸 水深橋梁絕 中路正徘徊 迷惑長故路 <u>蓬蒿无宿棲</u> 行行日已遠 人亡同時飢 羣裏行取薪 斧冰指作糜 悲歌東山詩 倦僂念城闕</p>	
DATE		

PROGRAM MANUAL

4

PROGRAM NAME

短歌行 曹操

PROGRAM NO.

PROGRAMMER

处理図

処理手順

人生幾何立

人人生如露如叶似水。

朝露置露如叶似水。

日以月星之形如叶似水。

消江以叶似水。

露上露如叶似水。

露晴明期更復落

人生一去何叶似水

処理条件

对酒当歌

沈吟至今

梨园谈燕

人生几何

呦呦鹿鸣

心念旧恩

譬如朝露

食有嘉肴

月明星稀

去日苦多

食野之苹

鳥鵠南飛

慨當以慷

我有嘉宾

繞樹三匝

但思难忘

鼓瑟吹笙

何枝可依

何以解憂

明明如月

山不厭高

唯有杜康

酒以劉伶 何時可掇

海不厭深

青青子衿

憂從中來

周公吐哺

悠悠我心

不可斷絕

天下归心

但為君故

慨陌煩所

未用相存

DATE